

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年4月18日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677600126
法人名	社会福祉法人 誠心会
事業所名	グループホーム南松園
所在地	鹿児島県肝属郡錦江町田代川原430-1 (電話) (0994) 25-2364
自己評価作成日	平成24年4月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成24年5月22日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

静かな田園風景の広がる自然豊かな場所にあり、昔から住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るよう、近隣住民との交流や地域行事などに参加し、これまでの生活スタイルを保つ事ができるように取り組んでいる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの周囲は静かでゆったりとした田園風景が広がり、協力医療法人や特別養護老人ホームと近接して建てられており、連携も緊密な状況で利用者や家族にとって大きな安心感につながっている。

○ 地域との交流は非常に活発で、地域の清掃活動や保育園・幼稚園の運動会、小学校のクリスマスコンサートなどに参加すると共に、関連の老人ホームで開催される夏祭り・夕涼み会・発表会等や、ホームの避難訓練にも地域の方々に参加して頂き、地域との協働関係の構築に努めている。

○ ご家族から主に訪問時の対話の際に多くの意見を頂き、職員間で情報の共有を図り、ケアに具体的に反映できるように取り組むと共に、ご家族へは利用者ごとに作成する「南松園だより」と一緒に毎月のお便りで必要な報告を必ず行き連携を図っている。

○ 職員研修もホームと法人全体で個々に充実した研修計画を立てて、職員のレベルアップに強力に取り組んでおり、管理者と職員が連携して理念に沿って、利用者が家庭的な雰囲気の中で温もりを感じて過ごせるように支援している。また、利用者の楽しみにつながるよう、カラオケ・体操・グランドゴルフ・散歩・ドライブ・紙細工や竹細工など、非常に多様なレクリエーションを企画・実践している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念を管理者、職員で共有して、グループホーム南松園の介護サービスの基本として実践している。	事業所の理念に沿って地域との連携を大切にし、家庭的な雰囲気の中で温もりのある暮らしの実現を目指し、利用者個々に応じたサービスを提供している。理念は職員心得及び職員で作成した年間目標と共に掲示して意義を確認し共有に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くにある理容店や近隣住民などと会話したり、野菜などの栽培法についてアドバイスを頂いたりしている。	地域の清掃活動や保育園・幼稚園の運動会、小学校のクリスマスコンサートなどに参加し、日常的に散歩や近隣の理髪店で地域の人々と挨拶や会話を交わしている。また、関連法人の老人ホームで開催される夏祭り・夕涼み会・発表会等に地域の方々に参加して頂き活発に交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議で話し合うことはあるが、現在、地域の方に生かす機会がない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者のご家族や行政、警察、消防、近隣住民などの参加を得ながらホームの状況を報告し、参加メンバーからの意見やアイデアをもらい、サービスの向上に努めている。	会議は定期的開催し、利用者や家族・地域住民・行政職員・警察・消防など多くの参加が得られている。ホームの現況報告や行事・課題等について活発な意見交換が行われ、日々のサービス向上につなげると共に、防火体制の確認や評価を通して具体的に避難方法等の改善が実現している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議などを通じて、事業所の実情やケアサービスを伝え、協力関係を保っている。	行政担当者には毎回の運営推進会議で多くの意見や提案を頂くと共に、入退所や認定更新の手続き時にも報告事項や防災面等の相談事項に対して、適切に助言・対応して頂くなどの連携を図り、サービスの質向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員会で身体拘束の理解を深めている。全職員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアに取り組むために、マニュアルを整備し、毎月委員会を開催して話し合いが行われている。また、勉強会もホームや法人全体で計画的に実施されている。職員は連携して気持ちの押さえつけや言葉による拘束の排除に努め、安全確保やゆったりとした暮らしを支援するケアへの反映に努めている。地域の方々にも見守りや声かけをしてもらえる関係づくりを図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	認知症高齢者の身体的、精神的な理解を深めるための勉強会を設けており、また職員間で虐待が行われていないか注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会がない。研修の場を作っていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は重要事項説明を丁寧に 行い、事業所としてできるこ と、できないことを明確にする よう努めている。また、改定等 の際は文書や連絡などを行い、 理解を得ることができるよう努 めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員並びに外部者へ表せる機会を設 け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置し、いつで も伝えることができるよう取り 組んでいる。	利用者からは日常会話を通じて思いや 意見を把握するように努め、ご家族と は訪問時の対話や家族会の際に話しや すい雰囲気作りに努めて多くの意見を 頂いている。職員は朝礼や仕事上の会 話を通じて情報の共有を図り、ケアに 具体的に反映できるように取り組んで いる。ご家族へは電話や毎月のお便り で必要な報告を行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている。	月に一度、職員会議を開き運営 や業務などに意見交換を行って いる。また、そこで出た問題点 など職員全員で話し、改善して いる	職員からの意見や提案は、朝礼や毎月 の職員会議で問いかけを交えながら聞 き取ると共に、職員が相談に訪れた際 に対話するなど、日頃から話しやすい 雰囲気作りに努めている。得られた意 見や提案は、職員と共に検討して、業 務やサービス内容の改善につなげてい る。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている。	個々の努力や実績、勤務状況を 把握し、給与水準、労働時間な ど、職員がやりがいをもって働 けるよう職場環境・条件の整備 に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人外の出張や、法人内部勉強会など、研修受講の機会確保している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	同業者との交流がほとんどない。近隣の事業所との交流を今後の課題としたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人を始め、ご家族、関係事業者から生活歴や傷病、自宅での過ごし方など詳細に情報を集め、少しでもスムーズに安心して生活していくことが出来るよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申込に至るまでの経緯や、ご家族の意向など伝えてもらい事業所としての対応や考え述べ相互理解した上でケアを行い、信頼関係を築くよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者本人の生活レベルや在宅での生活の様子など伝えてもらいニーズを見極め、必要に応じて見直しを行うよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食器洗い、台拭き、洗濯物ものたたみ等の家事を通じて、ともに支え合い暮らすことが出来るよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や手紙、電話などでいつでも連絡が取り合えるよう支援している。また、ご家族の協力を得ながら外出や外泊など行い交流を保つことができるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	旧友や知人が来られた時は、ゆっくり話ができるよう配慮している。	利用開始時やご家族来訪時の聞き取り、個人基本台帳や介護支援記録・申し送りノートに記録して支援に活用できるように取り組んでいる。利用者の知人や友人の来所時には、居室でゆったりと過ごせるように支援することをはじめ、電話の取り次ぎ、本人が希望する馴染みの理髪店への同行、自宅への帰宅や外泊などを可能な限り支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	普段の生活から利用者同士の関係を把握し、会話やレクリエーションなど楽しむ事ができるような座席の調整やグループ分けを行い、孤立する事がないよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、機会を設けて交流を保つようにしている。また、必要なサービスや支援を行い、安心して生活しているよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランを作成する前に本人の思いや生活に対する意向を伝えてもらい、充実して前向きな生活を送ることが出来るよう努めている。	日々の暮らしの中で思いや希望をくみ取るように努め、利用者が食べたいものや行きたい場所などをはじめとして、得られた情報は大きな紙に書き出して掲示し情報の共有を図っている。対応については、必要に応じてご家族とも相談してケアプランにも反映し、実現に向けて取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所される前に家族や本人、関係者からこれまでの暮らしや生活習慣等について情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の日常生活動作や創作活動など、日々の活動の様子を見守りながら現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族や本人、並びに関係者を一同に集め、それぞれの意見を聴き、計画の見直しや改善を行い、本人の思う暮らしへ近づくことができるよう取り組んでいる	本人・家族の意向や希望、医師や看護師・ケアマネ等の関係者からの情報を基に、利用者本位のわかりやすい介護計画を作成している。また、定期的な評価や見直しと共に、利用者や家族の要望や変化に応じて適切に見直しを行い修正している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとりの生活の様子を個別に記録し、会議や毎朝行う引継ぎなどで情報共有を図り、必要に応じて話し合いを行い改善に向けて取り組んでいる		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の意向やニーズに対し、できるだけ、柔軟なサービスができるよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源が少ないが、本人が望む場所があれば、いっしょに行けるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診以外にも、本人や家族の要望などある時は希望する医療機関受診をお願いしている	利用者は、隣接した協力医療機関をかかりつけ医としており、家族や医師との連携は密であり、定期的な月2回の訪問診療を支援している。また、歯科医等の専門医の受診は、ご家族の同行が基本であるが、状況に応じて職員が対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に2回行なう訪問診療を通じ、主治医や看護師などからの指示を受けながら適切なケアを行う事ができるよう取り組んでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族や病院関係者などから情報収集をして、利用者の不安の軽減に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	サービスを開始する前に本人や家族を含めて話し合いを行い、医療的な面や生活の場など、本人の状態に合わせた支援を行っていけるようにしている	重度化や終末期のケアについては、利用開始時に「利用契約書」を基に、本人やご家族と十分に話し合い方針を共有できるように取り組んでいる。協力医療機関とも連携を密に図り、利用者の段階に応じて、本人や家族にホームで行える可能な支援について理解して頂くように努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	体調の変化や事故発生に備えた勉強会を行っている、また、マニュアルを整備し迅速に対応できるよう訓練している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害に備えて月に1回、利用者、スタッフ、近隣住民の協力を得ての避難訓練を行っている。</p>	<p>消防署や地域の方々の参加のもと、年2回は夜間想定での避難訓練を実施している。また、自主訓練も毎月行い、反省点や課題も話し合わせ改善に向けた取り組みがなされている。非常時の自動通報網には消防署・役場・職員が登録され、近隣住民にも携帯電話で連絡可能な状況にある。スプリンクラーの設置や食料・水等の備蓄、マニュアルの整備にも十分な配慮がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会を通じて互いのケアを振り返り、見直さなければならぬ点を挙げ、注意、改善していくようにしている。	利用者の人格を尊重し、日常のケアに際して尊厳やプライドを損ねるような声かけや言葉遣い・話し方などを行わないように、職員会議や勉強会を通じて方法を共有して実践に取り組んでいる。また、入浴や排泄・更衣時等の羞恥心や記録保管への配慮についても徹底した対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	馴染みの関係を築きながら利用者の希望や好みを把握し、本人の思いを尊重しながらケアに取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決まりにとらわれず、一人ひとりのペースを大切にした介護サービスを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者自身にできるだけ、起床後の整容をお願いしている また、外出時など口紅やマニキュアなど希望を聞き使用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の負担にならない範囲で小鉢への盛り付けや、台拭きなど職員と協力して行っている。	利用開始時の聞き取りや3ヶ月毎の嗜好調査、日々の残食チェックを、味付けやきざみ食・調理方法の工夫も含めてメニューに反映させるように努めている。利用者の楽しみにつながるように、誕生会の特別メニュー・遠足や花見の弁当・ソーメン流しなどの工夫や、利用者の状態に応じた野菜の下ごしらえや食卓の準備や後片付けなど、一緒にできることの支援も可能な限り行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	塩分の摂り過ぎや、献立の偏りなど無いように注意している。また、食事量や水分摂取量を管理している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行いつている。自分で十分に行えない方については職員が介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意、便意の無い利用者でも、排泄の記録を利用し、定時に排泄誘導している。	排泄は半数の方々が自立されているが、その他の方々も排泄チェック表に基づき、適宜の声かけや誘導でプライバシーの確保にも十分配慮しており、日中は全員トイレでの排泄可能な状況である。利用者によっては、ケアプラン等にも反映して可能な支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や散歩を行いながら必要な水分確保に努めている。便秘になった場合は、医師に相談し必要に応じて便秘薬を使用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週に3回程度の入浴日を設けているが、その日の体調や気分に合わせて入浴できるよう努めている。	利用者の健康状態に配慮しながら、場合によっては清拭に変更することの対応を含めて、ゆったりと安心して楽しめるように支援している。季節に応じた入浴剤の活用や湯上り後の保湿剤の使用など利用者本位の対応に努めている。また、入浴を拒否される場合には、タイミングの良い声かけや誘導に努め、気分転換を図るなどの工夫もしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の状態を把握し、休息、睡眠が取れるように努めている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をファイルし、スタッフが目を通し易くしている。 また、薬が変わった場合など様子観察を行い、必要に応じて医師へ連絡を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	サービス計画書に個人の趣味や好きな事など盛り込み、楽しく充実した生活を送ることができるよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者や家族が希望する場所へできるだけ行けるよう支援している。	利用者の健康状態や天候を見ながら、本人の希望に沿って散歩や近隣のゲートボール場、理髪店等に出かけ、地域の方々と挨拶や会話を交わせるように工夫・支援している。年に数回は、花見や遠足、ソーメン流し、ドライブ、展示物等の観賞などを企画し、可能な限り楽しく外出できるように支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	年数回のショッピングを計画している。買い物を行う楽しみや、お金を所持、管理できるよう支援していきたい。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者から要望があった場合は速やかに電話や手紙を準備している。利用者自身ができない場合には職員が手伝っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が集って会話をする時は、周りの雑音（テレビ・音楽等）をなるべく控え、落ち着いて会話する事ができるよう努めている	玄関を入った中央に食堂、リビング、畳のスペースがあり、利用者が思い思いに過ごせる広い共用空間がある。季節の花々が飾ってあったり、壁には職員と利用者が工作した作品があり、音も静かで、季節感のある和やかな落ち着いた雰囲気である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファやダイニングセットを置き、花や装飾品などを飾ったりして、自由に過ごして頂けるよう空間作りに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>希望する利用者は、自宅で使用していた家具や日用品を持ち込んで、居心地よく過ごせるよう支援している。</p>	<p>床はフローリングで、ホーム提供のベッドと備え付けのタンスのほか、本人の希望で、写真を飾ったり、馴染みの家具を持ち込んでそれぞれ好みにあった居室作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>歩行しやすいよう手すりを設置しており、場所を認識していただいている。トイレも分かりやすいよう大きく表示している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない